

## 第2回電気・電子・情報系専門部会 幹事・編集委員会 議事録

2006年9月30日(土) 12時40分から14:00まで

東北職業能力開発大学校 7202 教室

### 議 題

#### 全体

1. 部会長挨拶
2. 新規幹事、編集委員紹介（ジャーナル誌での紹介も検討）
3. 今後の実践研究会活動について
4. 新規分科会の発足に向けて
5. 新規理事、幹事、編集委員、事務局体制について
6. その他

#### 幹事会

7. 実践研究発の活性化に向けた取り組み（討論会に変わる活動について）
8. 分科会活動予定  
「実装技術研究分科会」活動予定  
「組み込み系分科会」に向けた取り組み
9. その他

#### 編集委員会

7. 2006年の活動予定
8. 実践ジャーナル編集
9. その他

### 幹事会議事録

#### (1) 部会長挨拶

前回の理事会から理事会で提案があった WEB 会議導入提案の件（「Meetig Plaza 電網会議室サービス(NTT-IT)」）について下記のような説明があった

費用は「同時会議 1、最大参加数 10、月利用時間 5H」で初年度費用が 266,700 円です。このために、各系が「10 万円を負担できるかどうか」と言うことです。このための運用には会議用機器を設置する拠点施設を決めて行うものです。したがって、拠点以外の施設にいても会議に参加できるというものではない等の提示。

今後幹事会で検討結論を出す。

#### (2) 新規幹事、編集委員紹介

年1度の会議なので今後は、ジャーナル誌での紹介も含め会員に名前を覚えて頂くよう検討

#### (3) 今後の実践研究会活動について

電気電子・情報系の会員の専門分野の技術研修・見学を行う。実践研究会において参加の先生方とコミュニケーションが取りやすいように意見交換会を組み込みたい。また、地域での活動を計るため、近辺での発表会や大学・企業での技術研修参加できる機会を増やしたい。

#### (4) 新規分科会の発足に向けて

今回の新分科会幹事に就任頂いた、関東職業能力開発大学校永野秀浩より、二足歩行マイコン組み込み分科会では、スタンダードな開発環境情報の提供、応用(教材)例の情報提供、新たな教材の開発、標準カリキュラムなどと ETSS 関連との情報、

(資格試験への協力)などを大きな活動内容とする。いずれ次回の大会までに何らかの結果を出したい。とのメール連絡を頂いています。

その他新規分科会設立のための準備が必要であれば、事務局に申し出てください。

(5) 新規理事、幹事、編集委員、事務局体制について

部会長の定年にともない新理事体制を確立する。また、次回の事務局は能力開発大学校東京校で新規体制を組み、受けられるようにする。なお今後のことも含み西日本(関西等)での事務局も考慮しておく。

(6) その他

電気系実践研究会会員および賛助会員の増加を計る。特にポリテクセンターの会員を増やしたい。

### 編集会議の議事録

(1) 日時：9月28日(木)16時15分より。

(2) 場所：東北能開大 談話室

(3) 討議事項：編集体制の確認、原稿収集方法と内容について

①次期ジャーナル編集体制

原稿取りまとめ担当(生方副編集委員長)、広告担当(佐藤副編集委員長)

②次期ジャーナル分担

巻頭言：岡野理事

実践報告：

原稿依頼(佐々木、中井、後藤、滝本、中村、各編集委員)

今回発表会座長担当する方は、各セッションから2件程度+座長(編集委員除く)に推薦依頼(寺重)小林先生(長野)、佐々木先生(東海)、千秋先生(山形)、陣内先生(関東)中井先生 1, 2件程度

ティータイム：後藤先生

③進行予定

昨年度より1月前倒し

10月初旬くらいまでに執筆依頼文発送。(生方副編集委員長)

10月初旬くらいまでに依頼する。(佐藤副編集委員長)

12月初旬原稿締め切り。

121月中旬、データを确认后編集長に転送。

121月下旬、入稿

1月中旬、初稿

1月下旬 校正(すべての編集委員で分担)

2月上旬 最終校入稿

2月中旬 完成